

計算書類に対する注記（共生サポートセンターさくらの郷）

1. 重要な会計方針

(1) 貯蔵品の評価方法 総平均法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給与引当金の計上基準 期末退職金要支給額（約定給付額から被共済職員個人が拠出した掛金累計額を控除した金額）を計上している。

徴収不能引当金の計上基準 金銭債権の貸倒に備え、当該徴収不能見込み額を計上している。

(3) 減価償却資産の償却方法

建物、建物附属設備、構築物、車輛運搬具、器具備品 平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては、定額法によっている。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 退職共済制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において、作成する財務諸表は、以下のとおりになっています。

(1) 桜の園拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

(2) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3）

(3) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙4）

(4) 拠点区分におけるサービス区分の内容

桜の園 拠点区分

イ．トータルサポートセンターとみおか

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし				
合計				

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	円
計	円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	1,028,808	171,810	856,998
リース資産	3,234,000	646,800	2,587,200
合計	4,262,808	818,610	3,444,198

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	78,000	2,340	75,660
合計	78,000	2,340	75,660

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

1 1 . 重要な後発事象

該当なし

1 2 . その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし